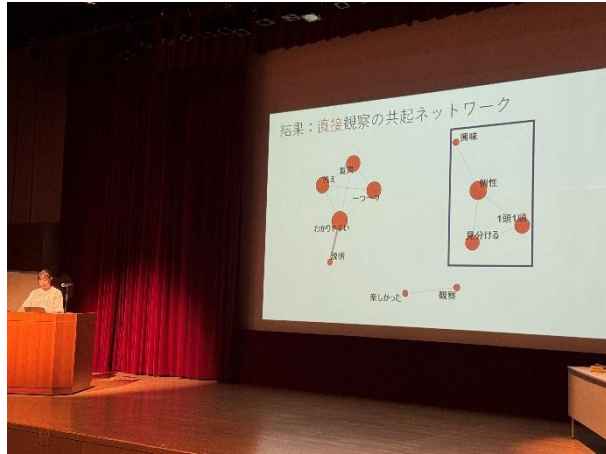


2025 年度大会 学生参加報告

梶 優花（大阪大学大学院 人間科学研究科）

9月17日から18日にかけて開催された2025年度大会に参加しましたので、報告します。

動物の行動と管理学会には初めての参加、さらには初めての口頭発表ということで、非常に緊張しました。「動物の行動観察体験イベントが参加者の理解と興味に与える影響」というタイトルで、発表させていただきました。サイエンスコ



ミュニケーションの一環として研究室で行ってきた行動観察法の体験イベントは、一般参加者の理解と興味を集めることができるのか、動画観察と直接観察では理解と興味に違いが表れるのか比較、検討するという内容でした。たくさんの質問、時には厳しい？ご意見、アドバイスをいただくことができ、今後の分析だけではなくイベントの企画にも活用できそうで、非常に充実した発表となりました。イベントに参加してくださった皆さま、イベント開催を快く受け入れてくださった京都市動物園の皆さま、ニフレルの皆さま、イベントの準備を手伝ってくださった比較行動学研究室のメンバーにこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

発表の場だけではなく、懇親会での交流も大変勉強になり、私も頑張ろうと刺激にもなりました。学生同士での会話では、研究の話だけではなく、大学の普段の様子について聞くことができ、それぞれの大学の特色が面白かったです。また、行動観察イベントを始めたきっかけを聞いてくださる方もおり、そこから議論をすることもできたので、あっという間に時間が過ぎていました。

発表した内容である観察体験イベントは主に休日に行っており、普段は行動観察を使用して、ショウガラゴとレッサースローロリスの研究をしています。いつかそちらの研究でも発表できるよう、努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、2025年度の開催にあたり、素晴らしい運営に携われた皆さまに深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。